

箱根組ニュース

第292号 2017年 3月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

龍崖山は標高は低いですが360度の絶景！ 風を避けて少し下った林の中で豚汁パーティー！

2月19日(日)、西武池袋駅発7時35分の急行飯能行きに乗車。冬晴れの空と街並みを駆け抜ける電車の窓からは真つ白な富士がくつきりと見えた。

8時24分、飯能駅に到着。降り立ったのは、太田、星野(幸)、川名夫妻、有倉、神山、宗像夫人、和田、星野親子、神吉、岩岳、戸丸の13名。

8時40分、出発。いつもは北口を利用する飯能駅だが今回の川名コースは南口からスタートだ。改札のすぐ横に観光案内所があるのも初めて気が付いた。

広い南口のロータリー横を抜けて、まぶしいほどの日差しの中歩き出す。空気は冷たいが気持ちがいい。左側に何やら大きな駐車場の付いた施設がある、何かと思ったらパチンコ店のような。空には雲一つない澄んだ空が広がる。

8時50分、正面に大きな飯能大橋が現れる。橋の袂を右に下りてゆくと小さな橋が現れる。矢九橋だ。空では川の上空でカラスが大きなトンビを威嚇しながら飛んでいる。民家の梅が満開だ。

橋を渡ったところでストレッチをする。

9時3分、出発。北に向かって車道を進む。左側は武蔵野の森の雰囲気が漂う里山が始まっている。右側に教会が見えてくる、飯能キリスト聖園教会だ。その向かいの左側に公園の入口。

9時12分、美杉台公園へと向かう。この辺一帯が自然林の広い公園になっているようだ。広い舗装歩道を緩やかに登ってゆく。鮮やかに赤い椿の花がきれいに咲き始めていた。舗装路から左にそれて芝生の踏み跡をたどって又左へと回り込んでゆく。右側に急な階段が現れこれを登ってゆく。

公園だと思っていたら、すぐにヒノキ林の尾根道になる。少し登ってゆくと9時23分、小ピークにドーム型の休憩所がある。木々の間から富士が見える。小休止して下ってゆく。美杉台リッチロードと手作りの看板がある。左に下りてゆくと大きな団地に出る。飯能市美杉台の大きな新興住宅街だそうだ。



右側の低木に雀位の小さな小鳥が数羽、数メートルの距離でそれほど人を怖がるでもなく飛んだりまったりしていた。モズだろうか、ヤマガラだろうかなどと話していたが、写真を後で調べてみたらジョウビタキだった。モズに似ているがオスの頭が銀色なのが特徴らしい。ジョウビタキのジョウは銀色の事を言うらしい。

9時41分、新興住宅街と別れ右の山道に入ってゆく。入口には「美杉台・大河原コース」と看板にある。少し急な登りで林に入る。尾根は奥多摩を連想させるようないい山道だ。このコースの隣には「あさひ山・ゆうひ山コース」がある。

9時48分、いったんコースを外れて左側に下りる。広々とした展望地に出る。きれいに舗装されたここは素晴らしい展望の「あさひ山展望公園」だ。

現在の収支	
繰越収入	30765 円
	0 円
支出	
印刷費	1000 円
コピー代	400 円
現在高	29365 円

切手残数	
82円切手	106枚
40円切手	131枚

山展望公園」だ。西方向から筑波山、スカイツリー、丹沢山、富士山、奥多摩の大岳山、御前山、日向沢ノ峰、秩父の武甲山とぐるりと絶景の山並みが

続く。標高が低いのに息をのむような山並みの美しさだ。9時58分、出発。元の尾根ルートに戻る。ヒノキ林の山道だ。左側には大きなソーラーパネルが並んでいる。尾根の最後少し急になり下ってゆく。

10時31分。大河原の交差点に出る。信号を渡り、戻るように左に進む。少し行くと右側の民家の軒下に何か黄色いものが沢山干してある。写真を後でじっくり見るとどうやら黄色いトウガラシのようだ。車道は少し緩やかな上りになる。

10時45分、右側に公園の入口が現れる。龍崖山公園の入口だ。山頂まで1300mとある。しばらく行くと登山口が現れる。公園の一番上にトイレがあるようなのでここで休憩。

11時8分、登山口から登り始める。2歳の小さな子供が手を引かれて登って我々を追い抜いて行った。

広葉樹が多くなり山道は

次回は3月19日(日) 麻生山(794m)です。

レギュラーコース 3時間20分

武蔵五日市駅からバスで上養沢へ、金毘羅尾根分岐から麻生山へ、昼食後、白岩の滝経由バス停へ

○持ち物 昼食、飲料水、非常食、ポットにお湯、カップ、雨具、傘、スパッツ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他
申し込みは3月17日(金)までに

集合 3月19日(日)

JR新宿駅 6:46発 ホリデー快速
あきがわ1号 武蔵五日市行き

(前から3両目車内)

途中駅発 中野6:50 三鷹6:59 国分寺7:06
立川7:15 西立川7:19 拝島7:29

武蔵五日市 7:55着 (バス乗換)

8:22発 上養沢行き

○交通費(片道)新宿～武蔵五日市 800円
武蔵五日市～上養沢 480円
白岩滝～武蔵五日市 370円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/ 03-3521-6898 戸丸

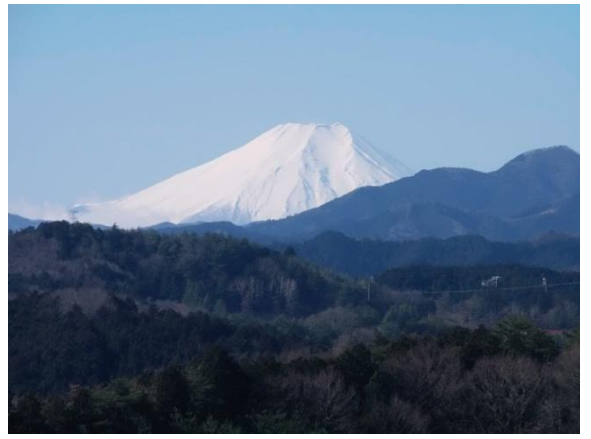
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

http://www.geocities.jp/hakonegumi1991/



だんだんと急になる。

11時

19分、

ロープの付いている坂道になる。少し行くと小ピークで平坦になる。こ

いい2歳児に追いつく。いったん下って堰堤状の橋を渡る。

11時30分、登りが始まる。

11時58分、景色が広がると燧山、標高234m。団体客が少し南側で昼食のようだ。標識の裏側に洒落たことが書いてあった。「おぜがはら見晴らし台」と書いてあり「ぜ」にバツを付けて、「お」と訂正してある。尾瀬に行ったことがる人はピンとくる洒落だ。「尾瀬ヶ原」ではなく「大河原」なのだ。ちなみに大河原も広々とした原っぱだ。奥には奥多摩方面の尾根が見えている。ここからの富士山もなかなか見事だった。

12時5分、龍崖山246mに到着。

とてもいい景色だが風が強く。寒いので記念撮影をして下山。絶景を見ながら金蔵寺方面800mの標識に向かって下ってゆく。

12時13分、左、八耳堂への分岐をやり過ぎ直進。12時16分、「中段」一休みの標識を通過。12時21分、マングン採掘坑通過。

12時27分。男坂女坂分岐。我々は女坂を下ってきたようだ。男坂を少し登ってゆくと川名さんが昼食会場として考えていた林の中の広場「三四郎平」に到着。風も無く絶好だ。

いよいよ遅めの昼食だ。大鍋では豚汁の準備。レジャーシートの上は料理のメインテーブルに早変わり。川名さんはバ



ーナーを出して熱燗作り。美味しい惣菜と大きないちごがデザート。いつものように十分に楽しんだ。2時5分、出発。

ここは分岐点になっていて登って³

ゆけば男坂経由で龍崖山に行けるようだ。右方向の八耳堂方面に下りてゆく。ヒノキ林を下ってゆくと里の景色が見えすぐに社と鳥居が見えてくる。軍太利神社だ。すぐ隣下に八耳堂がある。雪が解けて凍ったのか横に氷が広く張っていて靴で滑って楽しんだ。トイレ休憩。大通りを少し左に行き右に曲がって民家の間を通ってゆく。梅が満開だ。吾妻峠の標識に従って降りてゆくと入間川の河原に出る。飛び石のようなドレミファ橋がある。素敵な河原沿いを歩くのは気持ちがいい。赤岩、兎岩などがある。広い河原で一休み。猫柳が丸い綿毛の芽を着けていた。

2時57分、吾妻峠が終わり、また車道に戻る。3時18分、飯能河原の赤い橋を渡り飯能駅に3時半過ぎに到着。乗り入れの副都心線で池袋に途中下車。あれほど昼宴会をしたのだが、西口の養老の滝で打ち上げをして解散。

※2017年 夏の予定

7月28日(金)〜30日(日)

南アルプス仙丈ヶ岳テント泊

8月19日(土)、20日(日)

群馬・玉原高原バスツアー

